



八幡神社祭礼 福井県無形民俗文化財

若狭おばま

放生祭  
三年ぶり  
おばま

見処  
18日 13時  
小浜市まちの駅付近  
演し物(約16区)が大集結!!

天候、その他の理由により、予定を変更する場合があります。

令和4年 9月17日(土) 18日(日)

お問い合わせ ● 若狭おばま観光案内所 TEL 0770-52-3844 <https://www.wakasa-obama.jp>  
● 小浜市商工観光課 TEL 0770-53-1111(代) <http://www1.city.obama.fukui.jp>  
後援 ● 若狭おばま活性化イベント実行委員会 製作 ● 明日の放生祭を考える会 発行 ● 放生祭祭礼委員会  
協力 ● 小浜市 放生祭関連ホームページ ● <https://tamuracho.co.jp> <https://www.hoze-matsuri.jp>

詳細はこちらをご覧ください▶



写真 松本 祐和

山車や大太鼓、神楽、獅子の4種類の演し物が町中を巡る  
380有余年の歴史を持つ若狭地方最大の秋祭り



神輿

香取区  
今年不休番

放生祭に出る唯一の神輿で、二年に一度、八幡神社の御神体を奉戴して氏子各区を巡る。もともと八幡神社にあったものを香取区が譲り受け、巨額を投じて修理をした。

山車

清滝区 今宮区 竜田区  
飛鳥区 塩竈区 生玉区  
酒井区 貴船区 浅間区

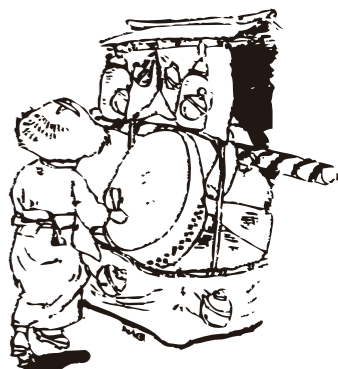
飛鳥区の舞台型山車を除き、すべて屋根付き二階造り、一階の前面に出囃子を張り出す。十数曲から二十数曲の囃子を持ち、一階には大太鼓・小太鼓、二階には笛の囃子方が乗り込み道行きする。神社や各区の本陣前では、出囃子で子供二人が小太鼓を打つ。江戸時代、祇園祭礼の頃の山車は、「布袋山」「大黒山」「行者山」など人形を飾った山車であった。



直径九〇センチほどの大きな太鼓と五〜七個の鉦による大音響の囃子に合わせて二人一組または、三人一組の棒振りが勇壮に立ち回る。また、子供や青年が披露する大太鼓の曲打ちも見処。最も歴史の古い住吉区の大太鼓は先頭に傘鉦(笠鉦)が行く。傘鉦と棒振り・囃子が一回で動いていく姿は、京都祇園祭に出る綾傘鉦や四条傘鉦に似ている。

大太鼓

広峰区 住吉区 大宮区  
鈴鹿区 大原区

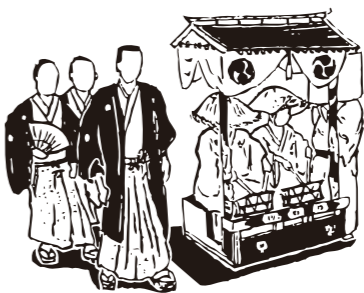


獅子

玉前区 日吉区  
多賀区 男山区



老若二匹の雄獅子と一匹の雌獅子が、笛と歌に合わせて、胸につけた締太鼓を打ちながら舞う。この三匹獅子舞は、藩主酒井忠勝が旧領地の武州川越から演者を連れてきたもので、江戸時代の祇園祭礼には武家「関東組」の人々によつて演じられていた。明治維新後、一番町(雲浜獅子)と、この放生祭に奉納する四区が習い伝え、伝統を守っている。



神楽の本舞台には囃子頭が載るが、獅子舞はなく、優雅で繊細な音律の神楽囃子を聞かせる。本舞台の大小二つの太鼓と笛の囃子で道行きし、神社や各区の本陣では、前舞台の二つの小太鼓と笛の囃子を奉納する。江戸時代の祇園祭礼の頃から中西町(現 鹿島区)の「神楽太鼓」として出ており、他の四区も鹿島区から伝習したといわれている。

神楽

神田区 白鳥区 津島区  
鹿島区 白鬚区

放生祭イラスト 足立直紀